

Baroque Collegium Sapporo
古楽器によるバロック音楽の夕べ vol.13

Die Quellen der deutschen Barock-Musik

Schutz, Schein, Scheidt und Bach

＜シュッツ、シャイン、シャイトからバッハへ ～ドイツ・バロックの源流＞

2012年 **10月14日** (日) 18:45 開場 19:15 開演

札幌コンサートホール *Kitara* 小ホール (札幌市中央区中島公園 1-15)

2,000円 (全席自由) - Kitara チケットセンター・大丸 PG にて 8/1 より取扱い開始 -



ライブツィヒ・聖トーマス教会, 1735 作者不詳

- 指揮● 大嶋 恵人
- 合唱● バロック・コレギウム合唱部
- 独唱● 伊藤 直美 岩村 悠子 板谷 俊祐 大柿 善崇
- リコーダー● 新林 俊哉 野中 敏明
- バロック・トランペット● 内藤 由美子
- バロック・ヴァイオリン● 物部 憲一 土井 奏 相内 俊一 吉野 聖子
- バロック・ヴィオラ● 仁木 彩子
- バロック・チェロ● 吉野 巖
- ヴィオラ・ダ・ガンバ● 福沢 宏(特別出演) セリア・オルソン 布施 久美子 松田 祥子
- オルガン● 藤井 美雪

初期ドイツ・バロックの「三大S」と言われる、シュッツ、シャイン、シャイトは、バッハに先んずること 100 年前に生まれた作曲家たちです。彼らは三十年戦争という激動の時代を乗り越え、イタリアやオランダの新しい音楽様式を取り入れつつ、言葉を殊のほか重んずるルター派教会音楽の姿勢をしっかりと保ち続けました。第1部では、バッハという大海の正に源流とも言うべき彼らの音楽を、ヴィオラ・ダ・ガンバやオルガンの響きと共に楽しみください。第2部では、バッハのカンタータの中でも屈指の名曲を2曲、弦楽器やトランペットなど、すべて古楽器(ピリオド楽器=当時の楽器を復元したもの)で演奏いたします。

<第1部>

J. H. Schein シャイン (1586 - 1630)

音楽の饗宴 より 組曲第 16 番 イ短調
Banchetto Musicale - Suite Nr.16 a5 in a moll

S. Scheidt シャイト (1587-1654)

音楽の楽しみ 第 1 巻 より 4 声のパヴァーヌ第 5 番
Ludi Musici - Paduan Nr.5 SSWV43

J. H. Schein シャイン (1586 - 1630)

イスラエルの泉 より 《我々の齢は 70 年》詩篇 90 章 10
Israels Brunlein - "Unser Leben waehret siebznzig Jahr" - Psalm90, 10

H. Schutz シュッツ (1585 - 1672)

宗教的合唱曲集 Op.11 より 第 19 曲 《心から汝を愛す、おお主よ》
Geistliche Chor-Music - "Herzlich lieb hab ich dich, o Herr" SWV.387

<第2部>

J. S. Bach バッハ (1685- 1750)

カンタータ第 51 番《全地よ、神におかいて歓呼せよ》 ソプラノ独唱/伊藤直美
Kantate Nr.51 "Jauchzet Gott in allen Landen" BWV51

J. S. Bach バッハ (1685- 1750)

カンタータ第 106 番《神の時こそいと良き時》アクトウス・トラギクス
Kantate Nr.106 "Gottes Zeit ist die allerbeste Zeit" Actus tragicus BWV106

福沢 宏 Hiroshi Fukuzawa ヴィオラ・ダ・ガンバ <特別出演>

オランダのデン・ハーグ王立音楽院をソリスト・ディプロマを得て卒業。ヴィオラ・ダ・ガンバをヴィーラント・クイケン、室内楽をシギスヴァルト・クイケン、バルトルド・クイケン、ルーシー・ファン・ダールの各氏に師事。在学中より数々のアンサンブルのメンバーとしてヨーロッパ各地で活動。現在、「バッハ・コレギウム・ジャパン」、「ザ・ロイヤル・コンソート」、「アンサンブル・エクレジア」メンバー。演奏家、講師として全国各地で多彩な活動を行っている。東京藝術大学古楽科、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。



大嶋 恵人 Shigeto Oshima 指揮・合唱指導

北海道教育大学、東京藝術大学声楽科卒業。オペラの指揮やプロデュース、宗教曲の独唱者としてステージに立つほか、札幌合唱団・札幌放送合唱団の指導をはじめ、合唱指揮、器楽アンサンブルやオーケストラの指揮も務めている。「バッハ・コンチェルティーノ札幌」指揮者。北海道札幌藻岩高等学校教諭。札幌音楽家協議会会員。札幌合唱連盟副理事長、日本発声指導者協会会員。



伊藤 直美 Naomi Ito ソプラノ

札幌大学女子短期大学部国文学科卒業。バッハ「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」、モンテヴェルディ「聖母マリアのタベの祈り(北海道初演)」等の宗教曲のソリストを務めるほか、オペラ、病院ロビーコンサート、ハープやヴィオラ・ダ・ガンバ等の室内楽と共演。2009年と2011年にソロ・リサイタルを開催。札幌合唱団、コーロ・ファーチレ所属。板谷基雄、鈴木寛一両氏に師事。

<講習会のご案内>

音楽修辞学をご専門とされる藤原一弘さんを講師にお招きして、今回のプログラムについてレクチャーをしていただきます。一般の方も聴講可能です。詳細が決まりましたら http://homepage3.nifty.com/baroque_collegium/ 上でお知らせいたします。

8月18日(土) 第1部 13:00-17:00 (中央区民センター・創造の部屋) 第2部 18:00-21:00 (同・会議室C)

講師:藤原 一弘 1978年より Origo et practica でチェンバロを学ぶ。80年よりチェンバロ調律師として活躍。85年獨協大学ドイツ語学科卒。90年立教大学大学院修士課程修了(組織神学、音楽学)。91年 A.Werckmeister に関する論文により辻莊一賞受賞。95年同博士課程中退。91~98年テュービンゲン大学音楽学研究所(91~93年 DAAD 奨学金)。95~98年プエッフィングにて合唱指揮者。明治学院大学キリスト教研究所研究員を経て現在に至る。洗足学園音楽大学講師。北海道大学非常勤講師。Origo et practica 特別講師(バロックの演奏習慣)。ユピラーテ奏楽者の会講師(キリスト教オルガン音楽)。Coro capriccio(テノール)。